

アツくておもしろい、若手農家が糸島で活躍中です! /

糸島の農業を元気に

# 若手ファーマーズの

## 古重カ

NO.88



糸島市志摩野北

ただ あきら

高田 聖さん(26)



早期米の収穫です。農機はコンバイン2台、トラクター8台、田植機2台、乗用管理機2台の他、リフト等も保有されています。



1



2

1 稲ワラを広げて乾燥させ、2 ロールペーラーで丸めます。丸めた稲ワラは畜産農家に販売します。

今回は、糸島市志摩野北の高田聖さんをご紹介します。

取材時は早期米の収穫などに忙しくされていました。

今年は天候に恵まれ、収量・品質共に上々とのことでした。

### ◆農業経営の内容を教えてください

早期と普通期の主食用米を約20畝、飼料用米を約11畝と、大麦を約12畝、小麦を約14畝栽培しています。

管理作業は主に父と2人で行っています。

朝、作業内容を打ち合わせしてから、一緒に作業をすることが多いです。

### ◆就農のきっかけは？

父から「継げ」と言われたことはないのですが、長男ということもあり自然にあとを継ぎました。

トラクター等の乗り物系の農機が好きだったことがきっかけだったかも知れません。普通科の高校を卒業後すぐに就農し、今年で8年目です。

### ◆就農して大変だったことは？

よく、農業は3Kと言われますが、自分はそう感じたことはありません。むしろ農業は夢や希望がもてる職業だと思っています。

農業は頑張った分だけ確実に返ってきますし、やり方によっては更に多くの収入を得ることも出来ます。

父が規模拡大をしてくれていたおかげで機械化も進んでおり、効率的な作業が出来ます。

### ◆心掛けていることは？

適切な水管理や適期の病害虫防除など、細かい管理を心掛けています。

田んぼに行く回数が減るほど、ジャンボタニシに

よる食害の発生や雑草が伸び放題になり、害虫が発生します。車で通りかかた時に、少し見るだけでも必要な作業が分かるので、的確な管理をすることができます。

### ◆農業をする上で、一番大切に考えているのは？

“消費者目線を常に意識すること”です。

一般消費者が求める米と飲食店などで使う事業用の米は違います。さらに、事業用でも用途によって求められる米が違います。例えばカレー専門店と定食を出す店では求められる品種も違ってきます。

「消費者が何を求めているか」を常に考え、それを作る事が大切と考えます。

### ◆販売面での新しい取り組みは？

これまでは“顔の見える関係を大切にしよう”と、手渡しが出来た範囲でしか販売していませんでした。コロナ禍で販売が厳しかった時に、家内がネットを使って手渡しの出来る範囲の売り先を見つけてくれたのでとても助かりました。

それから徐々に販路も広がりました。

### ◆将来の抱負は？

「今ある面積でどれだけ良い物を作れるか」に興味があります。

納得のいく米を作り、更に余裕があれば規模拡大も考えます。